

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
18時19分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00657	公衆便所維持管理事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり		
細節	20	快適な生活環境の確保		
予算事業	10500	01	04	01
所屬長	脇田 登	07	01	01
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第5項（清潔の保持）			
事業開始年度	昭和45年	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	高浜神社内の公衆便所を利用する市民		
目標	公衆便所の維持管理に努め、公衆衛生の向上を図る。		
結果	市民が利用しやすい清潔な公衆便所		
事業概要	高浜神社内の公衆便所の光熱水費及び建物等修繕等の維持管理事業		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	78	34	90	35	90
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	81	80
総事業費(A+B)	160	113	171	116	170
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	160	113	171	116	170
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	160	113	171	116	170
財源計(C+D)	160	113	171	116	170

所属	事業課
事務事業番号	00657

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	維持管理経費	千円	目標値	78.00	90.00	90.00
			実績値	33.00	35.00	
			達成度(%)	42.30	38.90	
目標値の積算方法	年間光熱水費及び建物等修繕料	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.42	3.31	
			一般財源(千円)	3.42	3.31	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	公衆便所の維持管理	目標	公衆便所の維持管理に努め、公衆衛生の向上を図る。
成果内容	不特定多数の市民が利用する公衆便所の維持管理を目的としてため、成果指標の設定はしてません。	達成状況	修繕や漏水もなく当初予算内で維持管理が行えました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(電気料金については定額制「公衆街路灯」契約を結ぶなど経費削減をしているため)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業評価は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。公衆便所は不特定多数の市民が利用しますので、公衆衛生を確保し、適正な維持管理に努める必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	事業課	事業名	公衆便所維持管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00657				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	事業課	事務事業番号	00657
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業費については、清掃業務を同様の業務を行っている土木部公園みどり室に執行を依頼し事業の効率化をはかり、電気料金については定額制「公衆街路灯A」契約を結び経費の削減に努めています。また、施設の老朽化などありますが、公衆衛生の確保のため、適正な維持管理が必要と考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月11日
16時05分30秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00658	事業課庁舎施設管理事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10591	01	04	02	02	01	01	01	施設管理事業（塵芥処理費）
所属長	脇田 登			担当者（内線）	高安（IP561-14）				
根拠法令等	なし								
事業開始年度	昭和50年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	事業課庁舎		
目標	施設の効率かつ適切な管理運営		
結果	計画的な管理運営によるコストの削減		
事業概要	事業課庁舎の維持管理		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社双葉化学商会
		委託先②	城陽エンジニアリング株式会社
		委託先③	その他
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	施設管理関連業務
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	24,410	20,468	15,761	14,718	14,838
人件費職員数(人)	3.00	2.50	3.00	3.00	3.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	24,510	19,750	24,156	23,469	23,835
総事業費(A+B)	48,920	40,218	39,917	38,187	38,673
特定財源(C)	66	58	71	62	58
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	66	58	71	62	58
市負担(D)	48,854	40,160	39,846	38,125	38,615
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	48,854	40,160	39,846	38,125	38,615
財源計(C+D)	48,920	40,218	39,917	38,187	38,673

所属	事業課
事務事業番号	00658

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	光熱水費	円	目標値	8,025,943.00	7,211,103.00	7,591,502.00
			実績値	7,211,103.00	7,591,502.00	
			達成度(%)	89.80	105.30	
目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.01	0.01	
			一般財源(千円)	0.01	0.01	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	事業課庁舎の施設管理	目標	施設の効率的かつ適切な運営
成果内容	事業課庁舎の施設管理を目的としているため、成果指標の設定はしていない。	達成状況	施設の老朽化が著しく、漏水等により光熱水費が大幅に増加することもあるため、改善の必要がある。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 削減及び財源確保に向けた取組として、経費削減の努力を行っているが、さらに削減効果を高める方策を検討する必要がある。具体的には、光熱水費の節約節電、節水に向けた取組を行う。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ていないが経費削減に努めながら、継続すべきである。また、施設の老朽化比率が85.9%となっていることから施設のあり方について検討する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	事業課庁舎施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00658				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境部事業課	事務事業番号	00658
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>建築後40年が経過し、施設の老朽化が年々進んでいます。中・長期的な視点から、今後の施設のあり方を早急に検討する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
08時39分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00659	家庭系ごみ収集運搬直営事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	03	循環を基調とするまちづくり		
細節	20	廃棄物対策の推進		
予算事業	10592	01	04	02
所属長	脇田 登	02	02	01
担当事業	家庭系ごみ収集運搬直営事業（塵芥処理費）			
担当者	担当者（内線）伊勢田（IP561-14）			
根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
事業開始年度	不明	直近の改正	平成24年度	
改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正（平成23年度）に伴う条例の一部改正			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市内の一般家庭 直営収集地区 対象数：18,149世帯（H30年3月末）		
目標	一般廃棄物を適正に収集運搬する。		
結果	市民に分別収集の意識向上を図る。また、ごみの資源化を促進し、ごみの減量を図る。		
事業概要	一般廃棄物処理基本計画・実施計画に基づき、家庭から12種分別により排出されるごみを適正に収集運搬する。（燃焼ごみ週2回 資源ごみ月2回 大型複雑ごみ月1回 小型複雑ごみ月1回 有害危険ごみ月1回）		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	25,994	24,199	30,387	23,426	33,647
人件費職員数(人)	49.40	48.00	47.60	47.60	49.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	403,598	379,200	383,276	383,276	393,278
総事業費(A+B)	429,592	403,399	413,663	406,702	426,925
特定財源(C)	3,380	3,328	3,548	3,078	3,023
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	3,380	3,328	3,548	3,078	3,023
市負担(D)	426,212	400,071	410,115	403,624	423,902
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	426,212	400,071	410,115	403,624	423,902
財源計(C+D)	429,592	403,399	413,663	406,702	426,925

所属	事業課
事務事業番号	00659

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	家庭系ごみの収集処理件数	件	目標値	215,650.00	218,831.00	219,621.00
			実績値	218,831.00	219,621.00	
			達成度(%)	101.50	100.40	
目標値の積算方法	ごみ収集の年間延べ世帯数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.84	1.85	
			一般財源(千円)	1.83	1.84	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	家庭系ごみの収集処理量	トン	目標値	6,932.70	7,549.30	7,462.12
			実績値	7,890.30	7,883.44	
			達成度(%)	113.80	104.40	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	51.13	51.59	
			一般財源(千円)	50.70	51.20	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市民1人1日当たりのごみ排出量	グラム	目標値	846.00	834.00	815.00
			実績値	842.00	843.00	
			達成度(%)	99.50	101.10	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	479.10	482.45	
			一般財源(千円)	475.14	478.79	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 市民1人1日当たりのごみ排出量を平成22年度比17%削減(一般廃棄物処理基本計画に基づく)	達成状況 平成28年度 11.3%削減 平成29年度 11.2%削減

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 事業費は適切である。(理由:家庭系ごみ収集運搬事業は、市町村の自治事務であり、継続的かつ安定的に実施しなければならない。そのため、委託事業者に対する指導や収集現場の実態把握、災害時及び非常時に対応できるように直営収集体制を維持する必要があるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 世帯数が増加しているにもかかわらず、収集処理量が減少傾向にあることを踏まえると、事業成果は現状で妥当であり、改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	家庭系ごみ収集運搬直営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00659				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境部事業課	事務事業番号	00659
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>家庭系ごみ収集運搬事業の直営収集は約1割ですが、委託業者への指導や災害等の非常事態が生じた場合のフォローなどには、実際に本市での収集業務の経験を積み、現場を熟知していることが重要です。安心サポート収集や在宅医療廃棄物収集など、高齢者や障がい者の方のニーズに対応した収集も実施しており、市民からも高い評価を得ています。また、本事業の遂行に不可欠な保有車両の老朽化が進んでいるため、今後、継続的・安定的に事業を実施するためには、計画的なリース車両への切り替えが必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
08時41分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00660	家庭系ごみ収集運搬委託事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10593	01	04	02	02	02	01	02	家庭系ごみ収集運搬委託事業（塵芥処理費）
所属長	脇田 登			担当者（内線）	伊勢田（IP561-14）				
根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								
事業開始年度	不明	直近の改正		平成24年度					
改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正（平成23年度）に伴う条例の一部改正								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市内の一般家庭 委託収集地区 対象数：151,389世帯（H30年3月末）		
目標	一般廃棄物を適正に収集運搬する。		
結果	市民に分別収集の意識向上を図る。また、ごみの資源化を促進しごみの減量を図る。		
事業概要	一般廃棄物処理基本計画・実施計画に基づき、家庭から12種分別により排出されるごみを適正に収集運搬する。（燃焼ごみ週2回 資源ごみ月2回 大型複雑ごみ月1回 小型複雑ごみ月1回 有害危険ごみ月1回）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	一般廃棄物収集運搬業者（10社）
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	一般廃棄物の収集運搬
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,783,370	1,780,223	1,813,175	1,798,606	1,847,397
人件費職員数(人)	9.00	8.90	9.00	9.00	9.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	73,530	70,310	72,468	72,468	71,505
総事業費(A+B)	1,856,900	1,850,533	1,885,643	1,871,074	1,918,902
特定財源(C)	2,280	2,105	2,271	2,223	2,204
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	2,280	2,105	2,271	2,223	2,204
市負担(D)	1,854,620	1,848,428	1,883,372	1,868,851	1,916,698
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,854,620	1,848,428	1,883,372	1,868,851	1,916,698
財源計(C+D)	1,856,900	1,850,533	1,885,643	1,871,074	1,918,902

所属	事業課
事務事業番号	00660

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	家庭系ごみの収集処理件数	件	目標値	1,769,206.00	1,797,906.00	1,816,416.00
			実績値	1,797,906.00	1,816,416.00	
			達成度(%)	101.60	101.00	
目標値の積算方法	ごみ収集の年間延べ世帯数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.03	1.03	
			一般財源(千円)	1.03	1.03	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	家庭系ごみの収集処理量	トン	目標値	56,876.30	62,024.70	0.00
			実績値	60,959.44	61,972.87	
			達成度(%)	107.20	99.90	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	30.36	30.19	
			一般財源(千円)	30.32	30.16	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市民1人1日当たりのごみ排出量	グラム	目標値	846.00	834.00	815.00
			実績値	842.00	843.00	
			達成度(%)	99.50	101.10	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,197.78	2,219.54	
			一般財源(千円)	2,195.28	2,216.91	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 市民1人1日当たりのごみ排出量を平成22年度比17%削減(一般廃棄物処理基本計画に基づく)	達成状況 平成28年度 11.3%削減 平成29年度 11.2%削減

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:家庭系ごみ収集運搬事業については、事業の約9割を民間業者に委託しており、廃棄物処理法に規定する委託基準の、経済性の確保等の要請ではなく、業務の確実な履行を求めた基準に留意し、継続的・安定的に事業を遂行するよう指導強化を図っていく必要があるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 世帯数が増加しているにも関わらず、収集処理量が減少傾向にあることを踏まえると、事業成果は現状で妥当であり、改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	家庭系ごみ収集運搬委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00660				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境部事業課	事務事業番号	00660
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

人口増加に伴い、収集世帯数が年々増加しているため委託料は増加傾向にあります。一日の遅滞も許されない事業です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>民間委託の拡大とともに委託料の削減によって総事業費の削減を図ってきましたが、廃棄物処理法に規定する委託基準である、「委託料が受託業務を遂行するに足る額であること」等の要件に加え、経済性の確保等の要請ではなく、業務の確実な履行を求めた基準に留意し、継続的・安定的に事業を遂行するよう指導強化を図っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年10月8日付の環境省通知「廃棄物処理法の適正な運用の徹底について」を受け、一般廃棄物の適正な処理の継続的かつ安定的な実施の確保に努めていくことが重要と考えます。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月11日
12時26分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00661	公共施設収集運搬委託事業						
章	05	環境を守り育てるまちづくり						
節	03	循環を基調とするまちづくり						
細節	20	廃棄物対策の推進						
予算事業	10594	01	04	02	02	02	01	公共施設収集運搬委託事業（塵芥処理費）
所属長	脇田 登			担当者（内線）	宮嶋（IP561-14）			
根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例							
事業開始年度	平成10年度	直近の改正	平成24年度					
改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正（平成23年度）に伴う条例の一部改正							
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）							

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内公共施設（小・中学校、その他公共施設） 対象施設：65か所		
目標	市内公共施設から排出される産業廃棄物のうち、水銀を含む廃棄物である廃蛍光灯及び廃乾電池の適正な収集運搬及び処理処分を行うこと。		
結果	分別意識の向上を図り、ごみの再資源化を促進することで、ごみの減量が図られる。		
事業概要	一部の市内公共施設から排出される産業廃棄物のうち、水銀を含む廃棄物である廃蛍光灯及び廃乾電池について、リサイクルと適正処理を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	産業廃棄物収集運搬業者
		委託先②	産業廃棄物処分業者
		委託先③	
		主な委託内容	市公共施設の産業廃棄物の収集運搬等
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,191	946	1,191	1,133	1,260
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,565	1,589
総事業費(A+B)	2,825	2,526	2,802	2,698	2,849
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,825	2,526	2,802	2,698	2,849
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,825	2,526	2,802	2,698	2,849
財源計(C+D)	2,825	2,526	2,802	2,698	2,849

所属	事業課
事務事業番号	00661

2頁
平成30年 7月11日
12時26分01秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	廃蛍光灯・廃乾電池収集箇所数	件	目標値	65.00	65.00	65.00
			実績値	65.00	65.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	昨年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	38.86	41.51	
			一般財源(千円)	38.86	41.51	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	廃蛍光灯・廃乾電池収集処理数	kg	目標値	2,761.00	2,541.00	2,781.00
			実績値	2,541.00	2,781.00	
			達成度(%)	92.00	109.40	
目標値の積算方法	昨年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.99	0.97	
			一般財源(千円)	0.99	0.97	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析も踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるが、廃掃法の改正により水銀廃棄物の取扱いについて変更があったことから、事業のあり方を検討する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	公共施設収集運搬委託事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00661				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境部事業課	事務事業番号	00661
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一部の市内公共施設から排出される使用済みの乾電池・蛍光灯について、適正なりサイクル処理を行っています。 今後、本市における全ての公共施設から排出される水銀廃棄物の取扱いについて、費用対効果や担当所管も含め本事業のあり方を検討すべきである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

廃棄物処理法の改正により、平成29年(2017年)10月1日から水銀を使用した製品が廃棄物となったもの(水銀廃棄物)について、適切な収集運搬・処分の徹底が必要となった。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月12日
09時38分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00662	医療に伴う排出物等・動物の死体収集運搬事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10595	01	04	02	02	02	03	01	医療に伴う排出物等・動物の死体収集運搬事業（塵芥処理費）
所属長	脇田 登			担当者（内線）	伊勢田（IP561-14）				
根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								
事業開始年度	不明	直近の改正	平成24年度						
改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正（平成23年度）に伴う条例の一部改正								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他	
対象	医療に伴う排出物等・動物の死体	
目標	医療に伴う排出物等・動物の死体の収集運搬を行う。	
結果	医療に伴う排出物等・動物の死体処理を適正に行い、市民の生活環境を清潔に保つ。	
事業概要	医療に伴う排出物等・動物の死体の収集運搬を行う。	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先① 一般廃棄物収集運搬業者
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②
		委託先③
		主な委託内容 医療に伴う排出物等・動物の死体の収集運搬
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①
	交付先②	
	交付先③	
<input type="checkbox"/> その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,614	12,595	12,614	12,578	12,877
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,565	1,589
総事業費(A+B)	14,248	14,175	14,225	14,143	14,466
特定財源(C)	1,747	1,738	1,698	1,753	1,765
国	0	0	0	0	0
府	337	322	336	330	324
その他	1,410	1,416	1,362	1,423	1,441
市負担(D)	12,501	12,437	12,527	12,390	12,701
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,501	12,437	12,527	12,390	12,701
財源計(C+D)	14,248	14,175	14,225	14,143	14,466

所属	事業課
事務事業番号	00662

2頁
平成30年 7月12日
09時38分54秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	動物の死体処理件数	件	目標値	1,906.00	1,881.00	1,933.00
			実績値	1,881.00	1,933.00	
			達成度(%)	98.70	102.80	
目標値の積算方法	昨年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.54	7.32	
			一般財源(千円)	6.61	6.41	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	医療に伴う排出物等処理件数	件	目標値	221.00	204.00	183.00
			実績値	204.00	183.00	
			達成度(%)	92.30	89.70	
目標値の積算方法	昨年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	69.49	77.28	
			一般財源(千円)	60.97	67.70	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	所有者不明の動物死体処理件数	件	目標値	1,262.00	1,177.00	1,199.00
			実績値	1,177.00	1,199.00	
			達成度(%)	93.30	101.90	
目標値の積算方法	昨年度実績	単位当たりコスト	総事業費(千円)	12.04	11.80	
			一般財源(千円)	10.57	10.33	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 死体処理は、ペットだけでなく路上等での回収も多数あり、生活環境保全のためには欠かせない事業であるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移及び年間処理件数等を踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	医療に伴う排出物等・動物の死体収集運搬事業	事業区分	その他
事務事業番号	00662				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	80	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境部事業課	事務事業番号	00662
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	医療に伴う排出物等・動物の死体収集運搬を民間業者に委託し、継続的・安定的な事業運営が行われています。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
08時44分08秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00663	ごみ分別排出啓発事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	03	循環を基調とするまちづくり		
細節	20	廃棄物対策の推進		
予算事業	10598	01-04-02-02-03-01-01-	ごみ分別排出啓発事業（塵芥処理費）	
所属長	脇田 登	担当者（内線）宮嶋（IP561-14）		
根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
事業開始年度	昭和47年度	直近の改正	平成24年度	
改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正（平成23年度）に伴う条例の一部改正			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市民（自治会等を通じて啓発）		
目標	ごみの分別排出の啓発を行うこと。		
結果	市民の分別意識向上とごみの減量が図られる。		
事業概要	ごみの12種分別のPR用ビラや看板を作成し、分別排出用コンテナの配布を行うことで、市民の循環型社会構築への理解を高め、分別意識の向上とごみの減量を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,933	6,161	4,933	4,851	4,933
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	13,103	14,061	12,985	12,903	12,878
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	13,103	14,061	12,985	12,903	12,878
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	13,103	14,061	12,985	12,903	12,878
財源計(C+D)	13,103	14,061	12,985	12,903	12,878

所属	事業課
事務事業番号	00663

2頁
平成30年 6月 6日
08時44分08秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	分別排出用のコンテナ配布個数	個	目標値	1,250.00	1,350.00	1,350.00
			実績値	1,600.00	1,350.00	
			達成度(%)	128.00	100.00	
目標値の積算方法	予算数値による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	8.79	9.56	
			一般財源(千円)	8.79	9.56	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ごみの排出量	トン	目標値	109,556.00	113,409.00	111,881.00
			実績値	113,508.10	113,987.02	
			達成度(%)	103.60	100.50	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.12	0.11	
			一般財源(千円)	0.12	0.11	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市民1人1日当たりのごみ排出量	グラム	目標値	846.00	834.00	815.00
			実績値	842.00	843.00	
			達成度(%)	99.50	101.10	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	16.70	15.31	
			一般財源(千円)	16.70	15.31	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 市民1人1日当たりのごみ排出量を平成22年度比17%削減(一般廃棄物処理基本計画に基づく)	達成状況 平成28年度 11.3%削減 平成29年度 11.2%削減

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>21年度計画では?</p> <p>【事業費等の評価】 事業費は、増額を検討する必要がある。(理由：吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例等の一部改正(持去り禁止)により資源物等の持去り行為について、市民や持去り行為者への周知が必要であるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。具体的には、吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例等の一部改正(持去り禁止)により、持去り行為者に対する指導・啓発を行う必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適切であるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	ごみ分別排出啓発事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00663				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境部事業課	事務事業番号	00663
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p><i>吹田市の廃棄物処理の現状</i> 市の委託業者でない者が資源物等を許可なく持去る行為が問題となっていることから、吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例等の一部を改正(持去り禁止)の手続きを進める。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
11時40分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00664	事業課業務グループ庁舎施設管理事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10600	01	04	02	03	01	01	01	事業課業務グループ庁舎施設管理事業（し尿処理費）
所属長	脇田 登		担当者（内線）横山（2956）						
根拠法令等	なし								
事業開始年度	昭和51年	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	事業課業務グループ庁舎		
目標	効率的な維持管理による施設管理		
結果	適正な施設管理		
事業概要	事業課業務グループ庁舎の施設管理		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	株式会社双葉化学商会
		委託先②	ダイキン工業株式会社
		委託先③	その他
		主な委託内容	施設管理関連業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,468	4,073	3,895	3,903	4,962
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	12,638	11,973	11,947	11,955	12,907
特定財源(C)	0	0	118	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	118	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	12,638	11,973	11,829	11,955	12,907
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,638	11,973	11,829	11,955	12,907
財源計(C+D)	12,638	11,973	11,947	11,955	12,907

所属	事業課
事務事業番号	00664

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年間光熱水費及び燃料費	千円	目標値	1,138.00	1,202.00	1,202.00
			実績値	958.00	1,049.00	
			達成度(%)	84.20	87.30	
目標値の積算方法	年間光熱水費及び燃料費の実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	12.50	11.40	
			一般財源(千円)	12.50	11.40	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	事業課業務グループ庁舎の施設管理	目標	効率的な維持管理による施設管理
成果内容	事業内容が施設管理を目的としているため、成果指標の設定していません。	達成状況	節電節水等に努め当初予算内で維持管理が行えました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、適正である。(他の事業の運営に必要であるため。) 事業費削減及び財源確保に向けて、光熱水費の節電、節水に努めて取組を行います。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。事業課業務グループが所管する事業の運営に必要な施設であり、光熱水費など経費削減の努力を行っていますが、さらに削減効果を高める方策を検討する必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	事業課	事業名	事業課業務グループ庁舎施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00664				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
②サービスの水準は適正ですか。			
内部管理	点		
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	82	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	事業課	事務事業番号	00664
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業課業務グループ庁舎は、建築後42年が経過し、老朽化が進んでいますが、し尿・浄化槽汚泥等の搬入車両の計量及び受入れを行っていることから、建替えや移転には多くの課題がありますが、今後も適正な庁舎管理を行い施設を維持していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
11時44分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00665	し尿収集運搬処理事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10601	01	04	02	03	02	01	01	し尿収集運搬処理事業（し尿処理費）
所属長	脇田 登				担当者（内線）横山（2956）				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・浄化槽法・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								
事業開始年度	昭和29年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正（平成23年度）に伴う条例の一部改正								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市内のくみ取り式トイレ（一般家庭、事業所、工事現場等くみ取り式仮設トイレ）・浄化槽の設置者		
目標	し尿・浄化槽汚泥等を衛生的に処理し生活環境を清潔にして、公衆衛生の向上を図る。		
結果	くみ取り式トイレ、浄化槽から公共下水道に切替えるまでの間、適正に収集を行ない公衆衛生の向上を図る。		
事業概要	し尿の処理については、一般廃棄物処理計画に基づいた2週間に1回の定曜日収集によるし尿収集運搬を実施しています。また、浄化槽については、許可申請受付・浄化槽清掃届受付・指導監督及び浄化槽汚泥等の受入れ処理を行っています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	有限会社フカモリ吹田営業所
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	市内全域のし尿収集運搬業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	市内全域の浄化槽汚泥等の収集運搬業務については、浄化槽設置者と浄化槽清掃業許可業者（19社）の契約	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	35,140	32,549	34,892	33,028	34,513
人件費職員数(人)	3.98	3.98	4.98	4.98	4.99
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	32,517	31,442	40,099	40,099	39,646
総事業費(A+B)	67,657	63,991	74,991	73,127	74,159
特定財源(C)	3,053	3,644	4,090	0	3,739
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	3,053	3,644	4,090	0	3,739
市負担(D)	64,604	60,347	70,901	73,127	70,420
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	64,604	60,347	70,901	73,127	70,420
財源計(C+D)	67,657	63,991	74,991	73,127	74,159

所属	事業課
事務事業番号	00665

2頁
平成30年 6月 5日
11時44分18秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	し尿の年間延べ収集件数	件	目標値	10,764.00	10,114.00	10,816.00
			実績値	9,211.00	8,870.00	
			達成度(%)	85.60	87.70	
目標値の積算方法	年度当初し尿収集対象戸数(定額+従量+仮設)×(52週÷2) *2週間に1回の収集のため	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.95	8.24	
			一般財源(千円)	6.55	8.24	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	浄化槽の年間延べ清掃件数	件	目標値	448.00	436.00	424.00
			実績値	411.00	424.00	
			達成度(%)	91.70	97.20	
目標値の積算方法	年度当初浄化槽設置基数 *年1回の清掃のため	単位当たりコスト	総事業費(千円)	155.70	172.47	
			一般財源(千円)	146.83	172.47	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	し尿の年間延べ収集量	kℓ	目標値	860.25	714.39	814.19
			実績値	650.61	667.70	
			達成度(%)	75.60	93.50	
目標値の積算方法	前年度平均し尿収集量×計画延べし尿収集件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	98.36	109.52	
			一般財源(千円)	92.75	109.52	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	浄化槽の年間延べ収集量	kℓ	目標値	1,266.09	1,218.25	1,284.73
			実績値	1,148.40	1,284.73	
			達成度(%)	90.70	105.50	
目標値の積算方法	前年度平均浄化槽汚泥収集量×年度当初浄化槽設置基数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	55.72	56.92	
			一般財源(千円)	52.55	56.92	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、適正である。(し尿収集運搬業務は市町村の自治事務として、くみ取り世帯や工事現場等仮設トイレのし尿収集に必要な事業であり、また、災害時の避難所等における仮設トイレのし尿収集に必要な不可欠のため)事業費削減に向けた取り組みとして、し尿収集運搬業務は全面委託を実施し事業費の節減に努めています。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移、年間延べ収集件数及び清掃件数をを踏まえると、事業成果は、現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	事業課	事業名	し尿収集運搬処理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00665				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	事業課	事務事業番号	00665
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

汲み取り世帯数が減少傾向ですが、工事現場等仮設トイレ申し込み件数増加や災害時等不測の事態に備えて、需要が見込まれる事業です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>し尿収集については、平成16年度から、し尿収集運搬業務の全面委託等、事業の効率化、経費の削減をはかっています。浄化槽については、許可業者からの清掃受付や浄化槽台帳管理業務等にあわせて、平成23年度からは、大阪府から事務移譲された「浄化槽の設置に関する届出受理等」の事務を行っています。汲み取り世帯数が減少傾向ですが、工事現場等仮設トイレ申し込み件数増加や災害時等不測の事態に備えて、継続的な業務の遂行が必要な事業です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
08時44分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01088	事業所減量・資源化指導事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10599	01	04	02	02	03	02	01	事業所減量・資源化指導事業（塵芥処理費）
所属長	脳田 登			担当者（内線）青島 貴信（IP561-13）					
根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								
事業開始年度	平成2年度	直近の改正			平成24年度				
改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正（平成23年度）に伴う条例の一部改正								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	事業所数：約6,200件		
目標	吹田市内各事業所に対し、ごみの減量・排出の抑制等指導を行い、事業系ごみの減量・資源化を促進する。		
結果	事業系ごみの減量・資源化の促進		
事業概要	吹田市内各事業所に対し、ごみの減量・排出の抑制等を指導している。また、排出処理等の実態調査を行い、自主的なごみの減量と資源化の取り組みを要請している。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,489	2,488	2,498	2,463	2,267
人件費職員数(人)	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	65,360	63,200	64,416	64,416	63,560
総事業費(A+B)	67,849	65,688	66,914	66,879	65,827
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	67,849	65,688	66,914	66,879	65,827
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	67,849	65,688	66,914	66,879	65,827
財源計(C+D)	67,849	65,688	66,914	66,879	65,827

所属	事業課
事務事業番号	01088

2頁
平成30年 6月 6日
08時44分54秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	事業所指導件数	件	目標値	764.00	733.00	637.00
			実績値	733.00	637.00	
			達成度(%)	95.90	86.90	
目標値の積算方法	昨年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	89.62	104.99	
			一般財源(千円)	89.62	104.99	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	事業系ごみ処理量	トン	目標値	32,722.00	34,149.00	32,745.00
			実績値	35,584.65	35,602.40	
			達成度(%)	108.70	104.30	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理実施計画に基づき算定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.85	1.88	
			一般財源(千円)	1.85	1.88	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市民1人1日当たりのごみ排出量	グラム	目標値	846.00	834.00	815.00
			実績値	842.00	843.00	
			達成度(%)	99.50	101.10	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	78.01	79.33	
			一般財源(千円)	78.01	79.33	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 市民1人1日当たりのごみ排出量を平成22年度比17%削減(一般廃棄物処理基本計画に基づく)	達成状況 平成28年度 11.3%削減 平成29年度 11.2%削減

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果は概ね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要がある。具体的には、資源化可能な紙類の資源化を推進し、2R優先社会への転換のために啓発活動・情報提供活動を充実させる。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	事業所減量・資源化指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	01088				

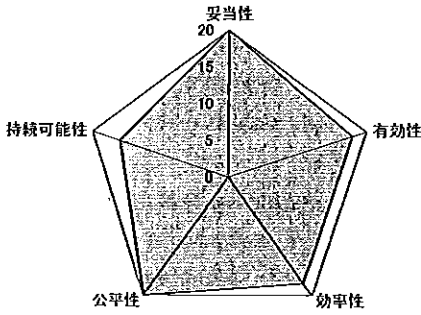
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意欲が薄れていませんか。	
		a. 実施意欲は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境部事業課	事務事業番号	01088
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内にある事業所に対し、紙ごみの分別による資源化の徹底や、適正なごみの減量の指導に 出向くとともに、資源循環エネルギーセンターと協力してピット前検査等を実施し、指導に当たっ ている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
18時21分09秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01449	災害用簡易トイレ管理事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	10	防災							
予算事業	11534	01	09	01	04	01	01	08	災害用簡易トイレ管理事業（災害対策費）
所属長	脇田 登			担当者（内線）	横山（2956）				
根拠法令等	災害対策基本法第42条第2項及び第49条								
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	全市民		
目標	屋内型災害用簡易トイレで使用する薬剤等消耗品の使用期限に合わせて順次更新する。		
結果	適正に薬剤等消耗品の更新をはかることにより災害時に対応できる。		
事業概要	災害時における生活必需品として備蓄している屋内型災害用簡易トイレで使用する薬剤等消耗品の更新を行います。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	324	281	216	182	0
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	81	0
総事業費(A+B)	406	360	297	263	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	406	360	297	263	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	406	360	297	263	0
財源計(C+D)	406	360	297	263	0

所属	事業課
事務事業番号	01449

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	災害用簡易トイレの薬剤等消耗品の更新	枚	目標値	4,000.00	2,000.00	0.00
			実績値	4,000.00	2,000.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年度毎の更新枚数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.09	0.13	
			一般財源(千円)	0.09	0.13	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	屋内型災害用簡易トイレで使用する薬剤等消耗品の更新	目標	使用期限に合わせて、順次更新していく。
成果内容	屋内型災害用簡易トイレで使用する薬剤等消耗品の使用期限に合わせて更新することを目的としているため、活動指標と成果指標が同じとなることから、成果指標は設定していません。	達成状況	平成29年度予定の2,000枚の更新は行えました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、適正である。(使用期限に合わせた更新が行えたため)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移、簡易トイレの薬剤等消耗品の使用期限に合わせて更新することを踏まえると、事業成果は、現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>		

事務事業分析シート

所属名	事業課	事業名	災害用簡易トイレ管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01449				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	事業課	事務事業番号	01449
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市では、屋外型・屋内型合わせて計734基の災害用簡易トイレを備蓄し、合わせて屋内型簡易トイレに使用する薬剤等消耗品を10,000枚備蓄しています。屋内型簡易トイレで使用する薬剤等消耗品の使用期限に合わせて、平成27年度から平成29年度の3か年で10,000枚の更新を行いました。災害時に備えて、必要な物資を検討し計画的に備蓄していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
08時45分43秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020400	事業課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01670	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり		
細節	26	保健事業の推進/健康危機管理		
予算事業				
所属長	脇田 登	担当者（内線）伊勢田（IP561-14）		
根拠法令等	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画			
事業開始年度	平成28年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	環境部事業課職員		
目標	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、業務上必要な物資を備蓄する		
結果	環境部における具体的な行動を進める。		
事業概要	平成27年11月に策定された吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、具体的な行動を進めるための、業務上必要な物資を備蓄する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,073	702	0	0	713
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.00	0.00	0.10
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	1,073	702	0	0	713
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,073	702	0	0	713
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,073	702	0	0	713
財源計(C+D)	1,073	702	0	0	713

所属	事業課
事務事業番号	01670

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	新型インフルエンザ等対策として、業務上必要な物資を計画に確保しています。	目標	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、環境部における具体的な行動を進めます。
成果内容	新型インフルエンザ等対策に業務上必要な物資を年次ごとに計画に備蓄します。	達成状況	新型インフルエンザ等が発生した場合、職員が業務に従事できるよう、業務上必要な物資を2週間分備蓄しています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	【今後の方向性】 平成27年度11月に策定された吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、環境部における具体的な行動を進めるため、年次的に業務上必要な物資を2週間分備蓄する必要がある。

事務事業分析シート

2018/6/610.02

所属名	環境部事業課	事業名	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01670				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	85	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境部事業課	事務事業番号	01670
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、年次の計画的に必要な物資を購入し、備蓄を進めています。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)